

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和5年9月28日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を省略しているものもあります。

I. 次の問題1から問題19の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (定義)

この法律で「自動車運送事業」とは、旅客自動車運送事業、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業をいう。(道路運送法)

()

問題2 (届出)

一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合及び定款並びに資本金の額に変更があった場合には、その旨を届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法施行規則)

()

問題3 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者を選任したときは、遅滞なく、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。これを解任したときも、同様とする。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 4 (過労運転等の防止)

貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 5 (運転者等台帳)

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者等ごとに、法令で定める事項を記載し、かつ、写真をはり付けた一定の様式の運転者等台帳を作成し、これを当該運転者等の属する営業所に備えて置かなければならない。

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る運転者等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを3年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 6 (定義)

この法律において「不当な取引制限」とは、事業者が契約、協定その他何らの名義をもつてするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に促進することをいう。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

()

問題 7 (点検等のための施設)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫ごとに、事業用自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 8 (休憩)

使用者は、労働時間が六時間を超える場合においては少くとも三十分、八時間を超える場合においては少くとも一時間の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。(労働基準法)

()

問題 9 (事業者等の責務)

事業者は、単にこの法律で定める労働災害の防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて職場における労働者の安全と健康を確保するようにしなければならない。また、事業者は、国が実施する労働災害の防止に関する施策に協力するようにしなければならない。(労働安全衛生法)

()

問題 10 (事業の譲渡し及び譲受け等)

一般貨物自動車運送事業者たる法人の合併及び分割は、国土交通大臣へ届出をしなければ、その効力を生じない。ただし、一般貨物自動車運送事業者たる法人と一般貨物自動車運送事業を営まない法人が合併する場合において一般貨物自動車運送事業者たる法人が存続するとき又は一般貨物自動車運送事業者たる法人が分割をする場合において一般貨物自動車運送事業を承継させないときは、この限りでない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 11 (交通事故の場合の措置)

交通事故があつたときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。(道路交通法)

()

問題 12 (臨時の報告)

貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣、地方運輸局長、運輸支局長から、その事業に関し報告を求められたときは、報告書を提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則)

()

問題 13 (自動車に関する表示)

自動車(軽自動車たる自家用自動車、乗車定員10人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。)を使用する者は、その自動車の外側に、荷主の氏名、名称又は記号その他国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。(道路運送法)

()

問題 1 4 (欠格事由)

1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過しないものは、一般貨物自動車運送事業の許可を受けることができない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 5 (運送約款)

一般貨物自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。但し、一般貨物自動車運送事業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準運送約款と同一の運送約款を定め、又は現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更したときは、その運送約款については認可を受けたものとみなす。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 6 (公民権行使の保障)

使用者は、労働者が労働時間中に、選挙権その他公民としての権利を行使し、又は公の職務を執行するために必要な時間を請求した場合においては、拒んではならない。但し、権利の行使又は公の職務の執行に妨げがない限り、請求された時刻を変更することができる。(労働基準法)

()

問題 1 7 (不公正な取引方法の禁止)

事業者は、不公正な取引方法を用いてはならない。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

()

問題 1 8 (日常点検整備)

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。(道路運送車両法)

()

問題 19 (自動車車庫の位置)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を営業所に併設しなければならない。ただし、自動車車庫を営業所に併設して設けることが困難な場合において、当該自動車車庫を当該営業所から自動車の保管場所の確保等に関する法律施行令に規定する距離を超えない範囲で設けるときは、この限りでない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

II. 次の問題20から問題23の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題20（業務の記録）

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該業務を行った運転者等ごとに必要事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならないが、次のア～ウについて、記録させる事項として正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア. 運転者等が従事した運行の業務に係る事業用自動車の自動車登録番号その他の当該事業用自動車を識別できる表示

イ. 運転者の住所

ウ. 休憩又は睡眠をした場合にあっては、その地点及び日時

ア（ ） イ（ ） ウ（ ）

問題21（目的）

次の（1）及び（2）に当てはまる語句として正しいものを1つ選び、（ ）に記入しなさい。

貨物自動車運送事業法は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ（ 1 ）なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって（ 2 ）の増進に資することを目的とする。（貨物自動車運送事業法）

ア. 効率的	イ. 合理的	ウ. 安定的	エ. 経済	オ. 公共の福祉	カ. 利用者の利便
--------	--------	--------	-------	----------	-----------

(1) ()

(2) ()

問題 2 2 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。①～⑥から正しいものを選び【 】内に記入しなさい。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ア. 1箇月の拘束時間は、原則として【 】を超えないものとする。
- イ. 1日についての拘束時間は、【 】を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続【 】以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり【 】、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- オ. 連続運転時間は、【 】を超えないものとする。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|--------|---------|
| ① 4時間 | ② 8時間 | ③ 9時間 | ④ 13時間 | ⑤ 293時間 |
| ⑥ 320時間 | | | | |

問題 2 3 (速報)

事業者等は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する事故があった場合には、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長に速報しなければならないこととされているが、その対象となる事故として、誤っているものを次のアからウより1つ選び、()内にその番号を記入しなさい。(自動車事故報告規則)

- ア. 2人以上の死者を生じた事故
- イ. 5人以上の重傷者を生じた事故
- ウ. 無免許運転を伴う事故

()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和5年9月28日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を省略しているものもあります。

I. 次の問題1から問題19の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (定義)

この法律で「自動車運送事業」とは、旅客自動車運送事業、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業をいう。(道路運送法)

(×)

問題2 (届出)

一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合及び定款並びに資本金の額に変更があった場合には、その旨を届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法施行規則)

(×)

問題3 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者を選任したときは、遅滞なく、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。これを解任したときも、同様とする。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 4 (過労運転等の防止)

貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 5 (運転者等台帳)

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者等ごとに、法令で定める事項を記載し、かつ、写真をはり付けた一定の様式の運転者等台帳を作成し、これを当該運転者等の属する営業所に備えて置かなければならない。

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る運転者等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを3年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 6 (定義)

この法律において「不当な取引制限」とは、事業者が契約、協定その他何らの名義をもつてするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に促進することをいう。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

(×)

問題 7 (点検等のための施設)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫ごとに、事業用自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(×)

問題 8 (休憩)

使用者は、労働時間が六時間を超える場合においては少くとも三十分、八時間を超える場合においては少くとも一時間の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。(労働基準法)

(×)

問題 9 (事業者等の責務)

事業者は、単にこの法律で定める労働災害の防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて職場における労働者の安全と健康を確保するようにしなければならない。また、事業者は、国が実施する労働災害の防止に関する施策に協力するようにしなければならない。(労働安全衛生法)

(○)

問題 10 (事業の譲渡し及び譲受け等)

一般貨物自動車運送事業者たる法人の合併及び分割は、国土交通大臣へ届出をしなければ、その効力を生じない。ただし、一般貨物自動車運送事業者たる法人と一般貨物自動車運送事業を営まない法人が合併する場合において一般貨物自動車運送事業者たる法人が存続するとき又は一般貨物自動車運送事業者たる法人が分割をする場合において一般貨物自動車運送事業を承継させないときは、この限りでない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 11 (交通事故の場合の措置)

交通事故があつたときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。(道路交通法)

(○)

問題 12 (臨時の報告)

貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣、地方運輸局長、運輸支局長から、その事業に関し報告を求められたときは、報告書を提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則)

(○)

問題 13 (自動車に関する表示)

自動車(軽自動車たる自家用自動車、乗車定員10人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。)を使用する者は、その自動車の外側に、荷主の氏名、名称又は記号その他国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。(道路運送法)

(×)

問題 1 4 (欠格事由)

1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過しないものは、一般貨物自動車運送事業の許可を受けることができない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 1 5 (運送約款)

一般貨物自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。但し、一般貨物自動車運送事業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準運送約款と同一の運送約款を定め、又は現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更したときは、その運送約款については認可を受けたものとみなす。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 1 6 (公民権行使の保障)

使用者は、労働者が労働時間中に、選挙権その他公民としての権利を行使し、又は公の職務を執行するために必要な時間を請求した場合においては、拒んではならない。但し、権利の行使又は公の職務の執行に妨げがない限り、請求された時刻を変更することができる。(労働基準法)

(○)

問題 1 7 (不公正な取引方法の禁止)

事業者は、不公正な取引方法を用いてはならない。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

(○)

問題 1 8 (日常点検整備)

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。(道路運送車両法)

(○)

問題 19 (自動車車庫の位置)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を営業所に併設しなければならない。ただし、自動車車庫を営業所に併設して設けることが困難な場合において、当該自動車車庫を当該営業所から自動車の保管場所の確保等に関する法律施行令に規定する距離を超えない範囲で設けるときは、この限りでない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

II. 次の問題20から問題23の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題20（業務の記録）

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該業務を行った運転者等ごとに必要事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならないが、次のア～ウについて、記録させる事項として正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア. 運転者等が従事した運行の業務に係る事業用自動車の自動車登録番号その他の当該事業用自動車を識別できる表示

イ. 運転者の住所

ウ. 休憩又は睡眠をした場合にあっては、その地点及び日時

ア（ ○ ） イ（ × ） ウ（ ○ ）

問題21（目的）

次の（1）及び（2）に当てはまる語句として正しいものを1つ選び、（ ）に記入しなさい。

貨物自動車運送事業法は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ（ 1 ）なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって（ 2 ）の増進に資することを目的とする。（貨物自動車運送事業法）

ア. 効率的	イ. 合理的	ウ. 安定的	エ. 経済	オ. 公共の福祉	カ. 利用者の利便
--------	--------	--------	-------	----------	-----------

(1) (イ)

(2) (オ)

問題 2 2 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。①～⑥から正しいものを選び【 】内に記入しなさい。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ア. 1箇月の拘束時間は、原則として【 ⑤ 】を超えないものとする。
- イ. 1日についての拘束時間は、【 ④ 】を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続【 ② 】以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり【 ③ 】、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- オ. 連続運転時間は、【 ① 】を超えないものとする。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|--------|---------|
| ① 4時間 | ② 8時間 | ③ 9時間 | ④ 13時間 | ⑤ 293時間 |
| ⑥ 320時間 | | | | |

問題 2 3 (速報)

事業者等は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する事故があった場合には、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長に速報しなければならないこととされているが、その対象となる事故として、誤っているものを次のアからウより1つ選び、()内にその番号を記入しなさい。(自動車事故報告規則)

- ア. 2人以上の死者を生じた事故
- イ. 5人以上の重傷者を生じた事故
- ウ. 無免許運転を伴う事故

(ウ)

法令試験実施状況

実施年月	受験者数	合格者数
令和5年9月	7	6

合格率 86%